

公益社団法人

# 福岡県作業療法協会会報

第107号 平成24年4月15日発行

(事務局)

〒802-0816 北九州市小倉南区若園2丁目6-21 ルミエール若宮101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 志井田 太一 編集責任者 菅沼 一平

ホームページアドレス：<http://www.fuku-ot.org/>



特集：「高齢者の認知機能低下予防に関する運動及び作業療法介入の効果について」

# 目次

巻頭言：「GNH（国民総幸福度）と公益社団法人」 公益社団法人 福岡県作業療法協会 会長 志井田 太一	・・・1
会長行動	・・・1
特集：高齢者の認知機能低下予防に関する運動及び作業療法介入の効果 について 西九州大学大学院健康福祉学研究科 田平隆行	・・・2
各部委員会からのお知らせ	・・・6
理事会報告	・・・11
Occupation 医療法人 寿芳会 芳野病院 村治智子	・・・12
リレーエッセイ 誠愛リハビリテーション病院 中西 恵 福岡共立病院 川畑徳子	・・・13
会員動向調査	・・・14

## 巻頭言「GNH（国民総幸福度）と公益社団法人」

公益社団法人 福岡県作業療法協会 会長 志井田 太一

昨年度末、福岡県作業療法協会は、福岡県より認定を受け公益法人改革に則った「公益社団法人」に、都道府県作業療法士会としては北海道に次いで2番目に移行することができました。この陰には、社団法人設立の際にもお世話になった公認会計士の吉田秀樹先生のご指導の下、中川事務局長を委員長とする「公益社団法人移行プロジェクト委員会」の委員、事務所の埜野さんや梁瀬さんらたくさんの皆さんの熱意による、足掛け3年にわたるハードでタイトなご尽力があったことをご報告いたしておきます。

福岡県作業療法協会は、昭和57年（1982）4月に米倉豊子初代会長の下会員56人で「福岡県作業療法士会」として発足し、昭和63年度（1988）より徳永麗子2代会長が就任され、平成5年（1993）3月に近藤 敏3代会長の下、「社団法人福岡県作業療法協会」として初めて法人格を取得することができました。法人として会を運営していく中で、保健・福祉・医療に関連する行政や団体との事業への協力や参画、および当事者や家族をはじめとした各種団体との連帯などをとおして、法人格の重要さを身にしみて認識することができました。

この機会に組織と事業運営を見直そうとした際、本会の軸となる指標を探していたところ、「国民総幸福度（Gross National Happiness GNH）」ということばに遭遇しました。経済が右肩上がりであった時代では、国の力は「国民総生産（Gross National Product）」や「国内総生産（Gross Domestic Product）」という指標で表されていました。GNHを実践しているブータン王国では、「人々がどれだけ情緒的に満たされているか」、「地域社会がどれだけ生き生きとしているか」という価値を基盤にした国政がなされています。ブータン王国でのGNHの構成要素は、1) 心理的幸福、2) 健康、3) 教育、4) 文化、5) コミュニティー、6) 良い統治、7) 生活水準、8) 自分の時間の使い方となっているそうです。これら構成要素の一つひとつが、現在の日本のように過去のような経済成長が当分見込まれない中で、例え経済的な発展が見込まれることが少なくとも、社会的な生き物である人間が共に生きていくための重要なキーワードになると感じます。

今回の公益社団法人への移行では、総会を地区ブロックの代表である代議員による社員総会となるなど、組織や運営の変更を伴っています。会員一人ひとりが、今まで以上に本会の運営に関心を持っていただき、自己研鑽はもちろんのこと、作業療法士がもっている技術や機能の強みを再考し、県民の皆さんと「共に生きる」ことを実現できる工夫と努力を積み重ねる福岡県作業療法協会の運営を目指していきます。

## 会長行動（平成24年1月～平成24年3月）

- |       |  |       |   |
|-------|--|-------|---|
| 1月15日 | OT協会受託事業<br>第3回地区委員会 出席<br>場所：デイサービスけやき通り                              | 2月11日 | 第13回産業医科大学リハビリテーション<br>講習会 参加<br>場所：産業医科大学                    |
| 1月28日 | 設立20周年及び公益社団法人化記念式<br>典・公開講座・祝賀会 出席<br>福岡県介護福祉士会 主催<br>場所：ホテルニューオータニ博多 | 3月4日  | 平成24年度福岡県作業療法協会定期総会<br>出席<br>場所：良想夢                           |
| 1月30日 | 北九州市すこやか住宅推進協議会主催<br>建築・福祉 新春情報交換会・交流会<br>出席<br>場所：小倉リーセントホテル          | 3月10日 | 福岡県3団体（PT・OT・ST）合同訪問<br>リハビリテーション研修会 参加<br>場所：麻生リハビリテーション専門学校 |
| 2月4日  | 平成23年度第3回九州支部会 出席<br>場所：神村学園   | 3月17日 | 作業療法推進活動に関する連携・調整会<br>議 出席                                    |
| 2月6日  | 平成23年度 福岡県作業療法協会<br>第6回理事会 出席<br>場所：良想夢                                | 18日   | 平成23年度第3回都道府県作業療法士会<br>連絡協議会 役員会 出席<br>場所：日本作業療法士協会事務所        |
| 2月8日  | 平成23年度 第2回福岡県高次脳機能<br>障害相談支援体制連携調整委員会<br>出席                            |       |   |

## 【はじめに】

壮年期以降、加齢により認知機能が低下していくことは周知の通りである。認知症の前駆状態とされる軽度認知障害 (Mild Cognitive Impairment ; MCI) は、記憶障害のみのamnesic MCI (aMCI single) と記憶障害と他の認知機能障害を伴ったaMCI multiple, 記憶障害以外の認知機能障害を呈するnon-amnesic typeに分けられる (Perersen RC, et al, 2005)。その他の認知機能とは、注意機能、遂行機能、言語機能、視空間機能等であり、これまで中核症状とされていた記憶障害のみならず他の認知機能の障害も明らかにされてきた。Rentsら (2001) のレビューによると正常からアルツハイマー型認知症への移行を追跡した研究結果では、遂行機能に關係するTMT, 言語流暢性課題, WAIS-Rの類似問題が将来ADに移行するか否かを判断する指標として有用であったとしている。また, Chenら (2000) のグループは、10年間の追跡研究において16の神経心理学的検査から認知症への移行を判別する指標として単語の遅延再生課題, TMT-Bが有用であったとしている。つまり、認知機能低下を早期に発見、早期介入するためには、短期記憶 (作業記憶を含む)、遂行機能に注目しアプローチする必要があると思われる。一方、これまでの認知症の疫学研究において、定期的な運動や栄養学的因子 (Morris MC, et al, 2003)、高血圧や糖尿病等の生活習慣病的因子 (Qiu C, et al, 2005, Ott A, et al, 1998)、日課 (Rogers RL, et al, 1990) や対人交流 (Fratiglioni L, et al, 2000) などの社会交流的因子が認知症の予防と関連があるとされている。特に運動に関しては、近年多くのランダム化比較試験がなされており、効果的な実践報告も多い。

本稿では、高齢者の認知機能に対する運動効果を概観し、作業記憶や遂行機能に対する作業療法実践の効果について紹介する。

## 【認知機能に対する運動の介入効果】

まず、疫学的報告としてLautenschlager NTら(2008)は、記憶障害の訴えがあるも認知症の診断に合致しない170名の内18ヶ月間の評価が完了した138名対象者に対し24週間の在宅運動プログラム (中等度の運動を1Wに150分以上 ; 主としてウォーキング1セッション50分を3回/W) を実施し、非介入群と比較した。その結果、Alzheimer's Disease Assessment Scale, 単語遅延再生課題, CDRが示す認知機能が実施直後はもちろんのこと18ヶ月間の追跡においても改善した。認知機能の低下を認めない65歳以上の男女6434人を対象に行ったLaurinらの調査(2001)では、5年間追跡できた4615人について検討された結果、436人はMCIを、285人は認知症を認めた。高いレベルの身体活動 (週3回のウォーキング以上の活動) を行っているグループ

は、低い身体活動グループと比較して認知機能の低下や認知症発症 (ADやその他の認知症) の危険性が低かった。このことは、年齢、性別、教育歴の影響を受けなかった。介入研究としては、茨城県利根町プロジェクト(2006)がある。運動 (有酸素運動) に加え、栄養 (EPA, DHA等)、睡眠 (昼寝の週間) による介入を3年間行い、認知症を発症した割合は介入グループ3.1%、非介入グループ4.3%と介入群では発症率が抑制された。

これら運動効果の機序を探るために幾つかの動物実験もなされている。脳にA $\beta$ -タンパク異常蓄積を生じるトランスジェニックマウスを用いたLazarovらの動物実験(2005)では、住環境や運動もA $\beta$ -タンパク異常蓄積に影響を示した。マウスの飼育環境を変えて広い飼育箱で廻り車やトンネルを設置し、興味を持って遊べるようにして運動量を増加させると、通常の住環境群に比べて有意にA $\beta$ タンパクが減少し、運動することによりA $\beta$ タンパク分解酵素の活性を高めたと考察している。また、Cotmanら(2002)は、自発的な運動量が高いほど海馬神経細胞の新生に必要な栄養ホルモンbrain-derived neurotrophic factor(BDNF)分泌量が増加し、強制運動では増加しないことを示した。これらのことから運動量だけでなく興味や自発性などの精神活動及び環境要因も何らかの影響を及ぼしているものと考えられる。

## 【軽度認知症の作業記憶に対する二重課題法を用いた作業療法の効果 ERP研究】

認知症は、十分な同時課題処理ができず、何らかの課題にエラーを生じる等、早期から作業記憶もしくは注意配分機能が低下していることが指摘されている。作業記憶を評価する手法として二重課題があり、この方法は、同時に二種の課題を試行するもので、注意処理資源配分量を二課題の成績のトレードオフにて数量的に推測する方法である。

一方、事象関連電位 (ERP) におけるP300成分 (P300) は、内的な事象に対応して生じる内因性成分であり、認知機能を評価する手段として広く利用されている。認知症では、聴覚的Odd-Ball課題を用いて潜時の遅延や振幅の減衰が認められ (Ito J, et al, 1990)、認知機能の障害を認めているが、初期の認知症においては潜時、振幅共に差がないという報告が多く (Slaetes JP, et al, 1984)、通常のOdd-Ball課題における鋭敏性の限界を示唆している。このことを受けて我々は、軽度認知症に対して事象関連電位のP300成分を指標とした二重課題を実施し、主課題のP300潜時の遅延、振幅の減衰を認め、作業記憶機能の低下を示唆した。さらに、このP300成分を使用した二重課題が認知症の作業記憶の評価に有用であることを結論づけた (田平他, 2004)。

そこで、軽度認知症者に二重課題を用いた作業療法を実施して作業記憶の向上を図り、本指標を使用したシングルケースデザイン法にて作業療法介入の効果を検証することとした。

### 1. 対象と方法

対象は、「もの忘れ外来」に定期的に通院しており、作業療法を受けている軽度アルツハイマー型認知症者（68歳，男性）であった。

#### 1) 評価方法

ERPの評価として①聴覚的Odd-ball課題（単一条件），②聴覚的odd-ball課題と視覚的単純反応時間課題の二重課題（DTE条件），聴覚的odd-ball課題と視覚的選択反応時間課題の二重課題（DTC条件）の3種を実施した。単一条件は，両ヘッドホンからの刺激される2種の周波数の内，低頻度音を計数する課題である。DTE条件は，①に付加し，15インチディスプレイ上の中心に赤色の四角形が出現するとボタンを押す単純反応時間課題を実施する。DTC条件は，①に付加し，赤と白の四角形の内，赤が出現したときのみボタンを押す選択反応時間課題を行う。ERPは，国際10-20法に基づきCz，Pzから両耳朶結合を基準に約30回の加算平均を行った。

#### 2) 作業療法の介入課題と手続き

主課題と副次課題の二重課題をそれぞれ3分間遂行する。主課題として，ヘッドフォンから「あ，に，ろ，ま」など無意味な単音を呈示し逐次復唱する，短音復唱課題を実施した。副次課題は，多量な資源の競合を防ぎ副次課題の作業遂行が可能である①Box-Tracking課題，②幾何学図形の形・位置再生課題，③マクラメ作業，④20ピースのパズルの4種とした。介入デザインとして週2回の「もの忘れ外来」日に以下の手続きに従いシングルケースABデザインを用いた。1) 介入前（A）3週間は，「現行の作業療法プログラム（計算・漢字書き取り・ビーズ手芸等）」を実施した。2) 介入（B）7週間は，現行の作業療法プログラムに加え，上記4種の介入課題を実施した。1つの二重課題につき所要時間3分で，1日（1回）あたり総実施時間は30分であった。尚，この7週間の間に神経心理学的評価（HDS-R，かな拾いテストA・B，TMT-A・B，Reading Span testを2回，ERP検査を3回実施した。

#### 3) 結果

介入前2回，介入中2回の神経心理学的データの推移を表1に示す。全体的に改善傾向であったが，作業記憶の評価である特にかな拾いテストやReading spanテストに改善が認められた。

図1-2に各条件における介入前・介入中のERP波形及びCz，PzのP300振幅の推移を示した。勾配について単一条件，二重課題条件においてCz，Pz共にベースラインが負であるのに対し介入では正の勾配に移行しており，特に単一条件においてその差が大きくなった。

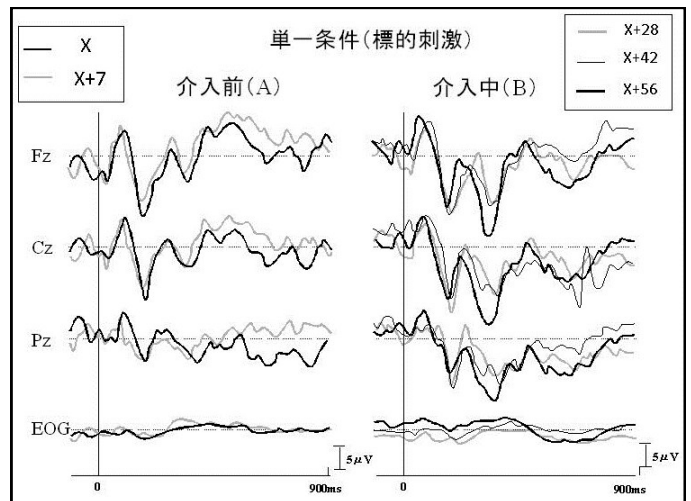


図1 介入前・介入中のERP波形の変化

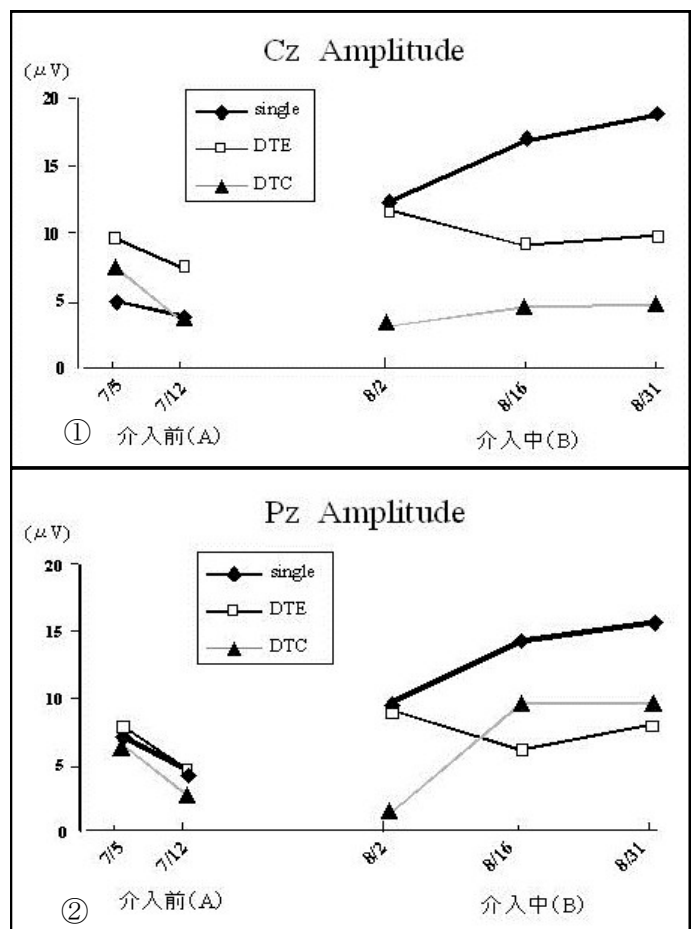


図2 介入前・中のP300振幅の推移

#### 4) 考察

P300振幅は，介入期に，単一条件，二重課題条件のいずれにおいても増大する傾向を認めた。P300振幅が認知処理資源量を反映するため，この結果は，介入によって認知処理資源量が増加した可能性を示唆するものである。単一条件のP300振幅の増大傾向は，二重課題条件に比べて大きかった。このことは，介入によって認知処理資源量とその配分量が共に増加しているが，増加率が処理資源配分量よりも全体的な処理資源量が大きかったことを示唆するも

のであり、処理資源配分量を増加（作業記憶機能の向上）する目的であった二重課題介入より、結果として全体的な認知処理資源量の増加という相乗的な影響を及ぼしたのかもしれない。神経心理学的評価については、かな拾いテストA・BとReading Span Testが改善した。両テスト共に言語（読み）を使った作動記憶を要するテストであり、言語課題を使用しなかった介入課題により変化したとすれば、Baddeleyのモデル(1991)で示す言語情報の系列的処理や保持を担う音韻ループへの影響、及び監視システムである中央実行系への影響のどちらかが考えられるが、言語課題でない介入で直接的に音韻ループに働きかけたとは考えにくい。従って、二重課題介入において作業記憶容量、しいては中央実行系の処理容量が増大した等の影響を及ぼしたと推測された。

#### 【拮抗体操の開発と前頭前野背外側に及ぼす効果】 (田平他, in press)

遂行機能は、単一の機能ではなく、目標に到達するための認知機能の柔軟性、必要な情報と反応を選択する選択的注意、自ら方略を見出し柔軟な思考で多くの要素を見出す機能など、より高次の機能である（石合, 2003）。中でもセットの変換は、認知機能の柔軟性として重要な前頭前野の機能であり、作業記憶が必要不可欠な機能である。このセット変換の要素を運動として開発したのが拮抗的体操（拮抗体操と呼ぶ）である。拮抗体操は、左右上肢や上下肢に対し相反する動作をリズムカルに切り替える二重課題ことであり、認知症介護予防事業において道具も不必要で導入しやすいことも利点の一つである。この拮抗体操が、作業記憶に関与する前頭前野背外側部（Dorsolateral prefrontal cortex ; DLPFC）の活動性を促すか否かを近赤外分光法（Near Infrared Spectroscopy ; NIRS）を用いて検討した。

#### 1.方法

対象は、健康な一般高齢者10名（68-78歳）であった。課題条件は、拮抗課題A（左右手が拮抗するようにグーとパーを交互に実施）、拮抗課題B（左右手が拮抗するようにチョキとパーを交互に行い、かつその間に両手同時にグーを挿入）、拮抗課題C（左右手が拮抗するようにピストル手とキツネ手を交互に行い、かつその間に両手同時にチョキを挿入する）の3条件とした（図3）。酸素動態測定にはNIRS（ETG-4000）を使用し、22chのファイバフォルダの中央下部を国際10-20法のFpzに設置した。NIRSの測定は、コントロール条件（両手同時のグーとパー課題）を30s、各課題を30secとし3試行行った際のOXY-Hbの加算平均波形を算出した。

#### 2.結果

図4に両側のDLPFC周辺のOxy-Hbの変化例を示す。10名の内、課題遂行が十分であった7名（平均年齢71.3歳）は、図4のように課題が複雑になるに従い、左右の前頭前野背外側部のOXY-Hb相対値は有意に増大した。しかし、課題遂行が不十分であった3名（平

Control課題：拮抗体操なし。

両手同時にグーとパーを繰り返す



拮抗課題A：左右手が拮抗するようにグーとパーを交互に実施。



拮抗課題B：左右手が拮抗するようにパーとチョキを交互に実施。  
(中間のグーが重複しない)



拮抗課題C：左右手が拮抗するようにピストルとキツネを交互に実施



図3 拮抗体操の課題内容

均年齢73.4歳）は、課題が複雑になるに従い同部位OXY-Hb相対値は低下傾向を示した。（図5）

#### 3.考察

DLPFCは、遂行機能に関与している部位であり、特にブロードマン46野は作動記憶に強く関係しており（Funahashi S, 1993）、認知症の進行防止に必要とされる機能に関与する部位でもある。今回、開発した拮抗体操は、セット変換を利用した遂行機能課題であり、課題が複雑になるに従い同部位が賦活したことから、同部位を刺激する認知的アプローチとして有用であることが示唆された。しかし、課題遂行が不十分である高齢者に対しては、うつ病の意欲低下型でDLPFCの血流低下認められ、意欲との関連領域とも言われる（川崎, 2009）ため個々の課題遂行能力に応じた拮抗体操の導入が必要である。

#### 【おわりに】

以上、高齢者の認知機能低下予防に関する運動及び作業療法介入の効果について、独自の研究内容を中心に紹介した。2030年認知症高齢者は、353万人に上ると推定されており（高齢者介護研究会, 2003）、我が国に関しては、各地方自治体で認知症介護予防事業が盛んに行われるようになってきた。我々も、平成17年度から長崎市において特定高齢者（現二次予防対象者）に対する認知機能向上事業に関わっており、6ヶ月の認知的活動により記憶・注意・社会活動に有意な改善

を認めている（田平他，2008）．介護予防効果（要介護者の減少）を早期に実現化するためにも，疫学的知見，神経科学的知見等の集積とそれらを駆使し

たアプローチ法を開発していくことが重要である．

表1 介入前，介入中の神経心理学的評価の推移

	Day	HDS-R	かな拾いA	かな拾いB	TMT-A	TMT-B	RST
A	X	23	26	16	1.06	1.48	1.5
A	X+7	23	23	19	1.00	1.56	1.5
B	X+53	24	31	29	0.56	2.01	3.0
B	X+77	27	31	28	0.59	2.59	3.0

HDS-R：長谷川式簡易痴呆スケール，仮名拾いテストA，B：2分間の正答数，TMT-A，B：Trail Making Test完成までの時間（秒），RST：Reading Span Test

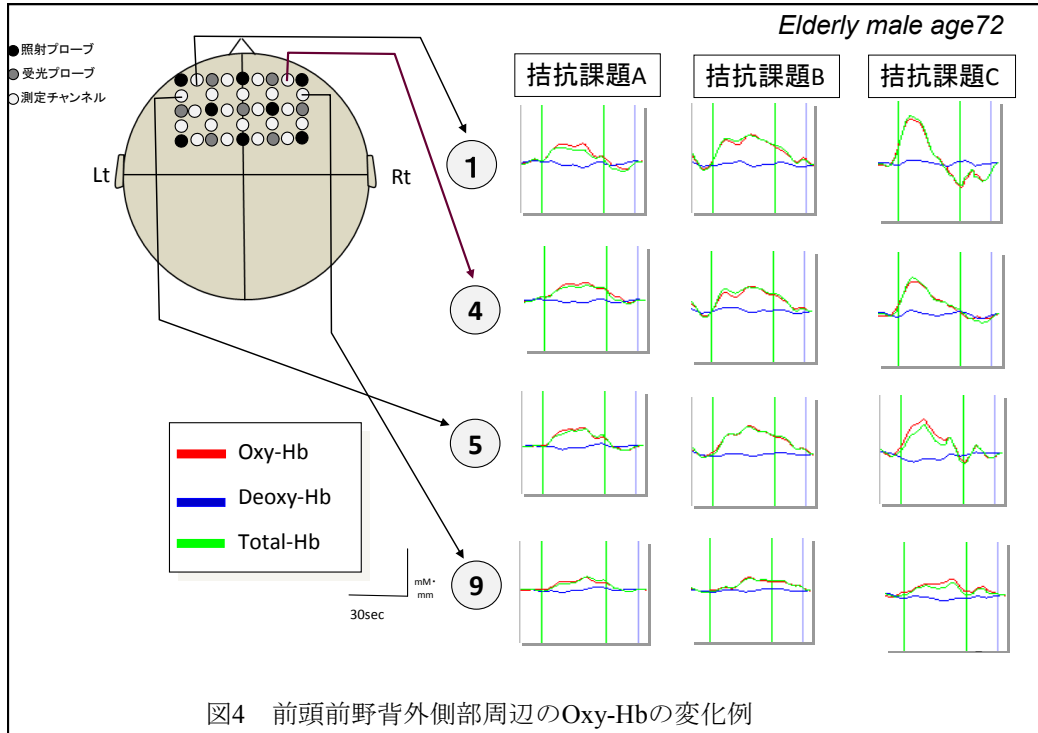


図4 前頭前野背外側部周辺のOxy-Hbの変化例

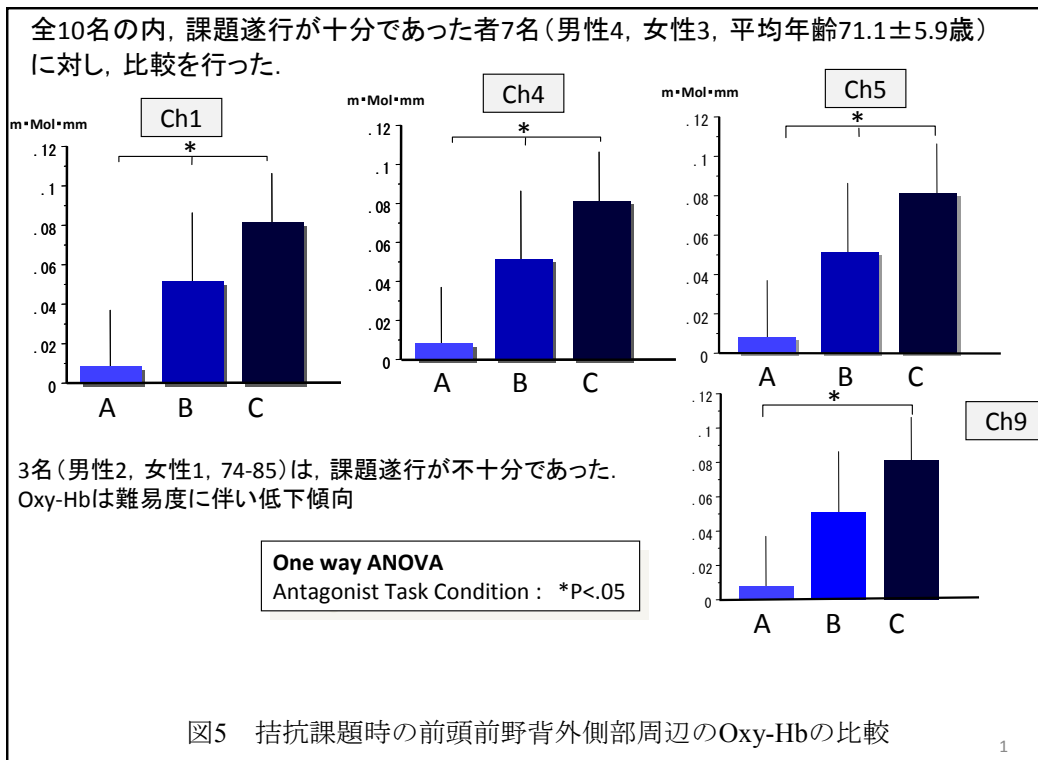


図5 拮抗課題時の前頭前野背外側部周辺のOxy-Hbの比較

## 各部・委員会からのお知らせ

### 【教育部】

#### 1. 主催研修会開催報告

##### 1) 発達分野研修会

日 時：平成23年12月18日（日） 10:00～15:10

会 場：麻生リハビリテーション専門学校

テーマ&講師

テーマ1：『発達障害を持つ子どもの評価と解釈，学校への支援』

講 師：仙石 泰仁（札幌医科大学保健医療学部作業療法学科教授）

テーマ2：『発達障害児の支援の実際』～家族支援・生活支援の視点から～

講 師：若松 かやの（ぐるぐるめろん島）

参加数：62名（OT 52名，他職種4名，学生5名，一般1名）

##### 2) 地域分野研修会（応用編）

日 時：平成24年2月5日（日） 10:20～15:00

会 場：福岡医健専門学校

テーマ：『平成24年度 介護報酬改訂の動向』

講 師：河口 青児（福岡医健専門学校 作業療法科学科長）

参加数：69名（OT 65名，他職種 4名；PT）

##### 3) 現職者選択研修：老年期分野

日 時：平成24年2月11日（土） 9:10～16:30

会 場：北九州リハビリテーション学院

テーマ&講師：

① 老年期の基礎知識と老年期障害作業療法における環境調整

北九州市保健福祉局健康推進課 宮永 敬市

② 医療機関における老年期作業療法

福岡新水巻病院 末永 健一

③ 施設における老年期作業療法と認知症作業療法

介護老人保健施設六和会センテナリアン 国政 和子

④ 在宅生活に関わる場における老年期作業療法と認知症作業療法

デイサービスセンターまいん 吉原 直貴

参加数：108名（内県外OT6名；熊本1名，大分1名，山口2名，広島1名，岡山1名）

#### 2. 生涯教育制度関連事業

##### 1) 本部協会 生涯教育部主催研修会への協力

###### ① 福祉用具研修会（専門作業療法士）

日 時：平成23年11月26日（土），27日（日）

会 場：麻生リハビリテーション専門学校

###### ② 特別支援教育研修会

日 時：平成23年11月26日（土），27日（日）

会 場：麻生リハビリテーション専門学校

###### ③ 認知症研修会（専門作業療法士）

日 時：平成24年1月21日（土），22日（日）

会 場：麻生リハビリテーション専門学校

###### ④ 福祉用具研修会（専門作業療法士）

日 時：平成24年2月11日（土），12日（日）

会 場：麻生リハビリテーション専門学校

##### 2) 生涯教育推進委員会出席：

平成23年12月3日（土）

#### 3. 生涯教育システム推進委員会九州支部への協力

##### 1) 九州作業療法士会 合同研修会

日 時：平成24年2月4日（土），5日（日）

会 場：神村学園専修学校（鹿児島県）

テーマ：県士会活動におけるコーチングの活かし方

### 【保険委員会】

#### 主催研修会開催報告

##### ① 福岡県三士会合同訪問リハビリテーション実務者研修会

日 時：平成24年3月10日（土） 14:00～18:30

平成24年3月11日（日） 10:00～16:15

会 場：麻生リハビリテーション専門学校

<テーマ&講師>

テーマ①：「コミュニティケア ～PT・OT・STに望むこと」

講 師：矢津 剛 先生

（矢津内科消化器科クリニック 院長）

テーマ②：「訪問リハビリの実践 ～それぞれの視点から～」

理学療法士：後藤 敏弘 氏（今野病院）

作業療法士：佐野 功一 氏

（宗像水光会総合病院）

言語聴覚士：佐々木 哲 氏（早良病院）

テーマ③：第1部「在宅セラピストの資質」

第2部「3/11 東日本大震災

PT・OT・STに出来ること」

講 師：渡邊 好孝 氏

（宮城県理学療法士会 会長）

テーマ④：「訪問リハ～言語聴覚士による活動～」

講 師：半田理恵子 氏

（在宅リハビリテーションセン

ター成城 言語聴覚士）

テーマ⑤：「訪問リハビリテーションの実際と今後の展望」

講 師：野尻 晋一 氏

（老人保健施設清雅苑 理学療法士）

### 【福岡ブロック】

1. 事業企画会議開催：1月17日，2月7日，3月8日

2. エリア会部

#### 1) エリア会

(1) 城南区・早良区エリア

『近況報告』『内部障害に対する作業療法』

日時：1月12日 会場：福西会病院 参加：13名



## (2)東区エリア

『福祉用具』『リンパ浮腫』

日時：1月25日

会場：香椎丘リハビリテーション病院

講師：藤田曜生（九州大学病院）参加：20名

## (3)南区・春日市・那珂川町エリア

『浮腫療法』『今年度の反省・来年度の研修計画』

日時：2月20日 会場：福岡赤十字病院

講師：藤田曜生（九州大学病院）参加：22名

## 2) 現職者共通研修 事例報告および検討会

日時：2月10日 19:00～

会場：麻生リハビリテーション専門学校

発表：12名 聴講：8名

## 3.広報部

1) 1月号「Joy Style」発行

## 4.教育学術部

### 1) 研修会

『長期入院者の地域移行支援について～  
一事例を通じて～』

講師：宮崎 聡先生（医療法人桜珠会  
可也病院 精神保健福祉士）

日時：2月29日（金） 19:00～

会場：麻生リハビリテーション専門学校  
参加：38名

## 【北九州ブロック】

### 1. ブロック企画会議開催

平成24年1月16日（月） 19:00～

曾根東市民センター 大会議室

平成24年3月19日（月） 19:00～

曾根東市民センター 大会議室

### 2. 平成23年度北九州ブロック分野別研修会

日時：平成24年3月11日（日） 10:30～

会場：小倉リハビリテーション病院

身障分野：「A-ONE 神経行動学的評価法の紹介」

老年期分野：「介護老人保健施設「ぺあれんと」  
での取り組み」

参加：86名

## ＜小倉北・門司エリア＞

### 1. エリア企画会議開催

平成24年1月5日（木） 19:00～ 大手町病院

### 2. 第3回エリア研修会開催

テーマ：「ICFに沿って症例を捉えよう！」

H24. 2. 17（金） 新小文字病院

コメンター：佐藤 稔氏（シダー）

参加：29名

## ＜小倉南・京築エリア＞

### 1. エリア企画会議開催

平成23年12月14日（水） 19:00～

小倉南障害者地域活動センター

平成24年 3月13日（火） 19:00～

小倉南障害者地域活動センター

### 2. 第2回エリア研修会開催

テーマ：「働くOTのセルフコントロール」

H24. 1. 29（日） 小倉リハビリテーション学院

講師：深町 晃次氏（九州リハビリテーション大学  
校）

参加：75名

### 3. 事例検討会開催 H24. 2. 19（日）

小倉リハビリテーション学院 10時00分～

演題：7題 聴講者：8名

## ＜八幡西・遠賀・中間エリア＞

### 1. エリア企画会議開催

平成23年12月6日（火） 19:00～ 福岡新水巻病院

平成24年 2月 1日（水） 19:00～ 八幡厚生病院

### 2. 懇親会開催

平成24年2月4日（土） 19:00～ 「野の葡萄」

### 3. 第3回エリア研修会開催

テーマ：「リスク管理をふまえた上肢機能障害への  
アプローチ」

H24. 2. 15（水） 福岡新水巻病院

講師：下門 範子氏（北九州総合病院）

参加：50名弱

## ＜戸畑・若松・八幡東エリア＞

### 1. エリア企画会議開催

平成24年1月10日（火） 18:30～ あやめの里

平成24年3月 6日（火） 18:30～ あやめの里

### 2. 第4回エリア研修会開催

テーマ：「住宅改修について」

H23. 12. 2（金） 戸畑リハビリテーション病院

講師：反田 治氏（訪問看護ステーションきらら）

参加：54名

### 3. 事例検討会開催 H24. 2. 17（金）・3. 16（金）

ウエル戸畑 18:30～

## 【筑豊ブロック】

### I. 事業企画会議

平成23年度 第5回事業企画会議

日時：平成23年12月20日（火） 19:00～21:00

会場：飯塚記念病院 デイケアセンター新館

参加者：10名

平成23年度 第6回事業企画会議

日時：平成24年2月13日（月） 19:00～21:00

会場：飯塚記念病院 デイケアセンター新館

参加者：13名

第1回 福岡県作業療法学会 準備委員会

日時：平成24年3月5日（月） 19:00～21:00

会場：飯塚記念病院 デイケアセンター新館

参加者：15名

### II. 研修会報告

第5回 筑豊ブロック研修会

日時：平成24年2月21日（火） 19:00～

会場：飯塚記念病院 多目的ホール

内容：「KYT（危険予知トレーニング）について」

講師：梶井剛士先生（健康リハビリテーション  
内田病院）

参加者：45名（OTR：37名，RPT：1名，  
PSW：7名）

### Ⅲ. 懇親会報告

#### 第2回 筑豊ブロック懇親会

日時：平成24年2月17日（金）19:00～

会場：喜酒楽膳「あぐら」

参加者：22名

#### 【筑後ブロック】

筑後ブロック事業企画会議

開催日：平成24年2月20日（月）19:30分～

場所：高良台リハビリテーション病院

出席者：9名

#### 1. A地区

##### 1. 活動報告

##### 1) 症例発表（A地区担当）

日程：平成24年2月7日（火）

時間：19:00～21:00

場所：久留米大学 共同カンファレンス

座長：川原氏，江口氏

発表者：9名

聴講者：6名

\*A地区の運営委員と岩佐氏にて会場設営等を行う

##### 2) 24年度の予算案

##### 2. 活動予定

##### 1) 平成24年度地区研修会

(1) 講師：川原大和先生

① 場所を検討中

② 時期を7月開催に検討中

#### 3. B地区

##### 1. 活動報告

1) 新人症例発表会 平成24年1月18日（水）  
久留米リハビリ学院にて実施.

##### 2. 活動予定

1) 24年度B地区活動予定および予算

2) 筑後ブロック全体研修会開催について

(1) 9月2日or 9月9日予定

##### 3. その他

地区運営委員 下川真由美氏（柳川療育センター）退任の申し出あり。後任を検討中

#### 4. C地区

##### 1. 活動報告：特になし

##### 2. 活動予定（検討事項も含む）

##### 1) C地区研修企画会議

開催日：2月後半か3月に開催予定

場所：白川病院通所リハまごころ

参加者：C地区運営委員

内容：平成24年度事業計画

##### 2) 研修会の時期を11月に検討

#### 5. D地区

##### 1. 活動報告：特になし

##### 2. 活動予定：

1) 2月末事業企画会議実施予定

2) 大刀洗介護予防事業実施予定

3) 地区研修会開催日を重複しないように配慮中  
(12月予定だが未定)

### 6. 学術

#### 1. 活動報告

##### 1) 事例検討会

(1) 2012年1月17日（久留米リハ学院）

発表者13名

聴講者22名（申請者4名，非申請者18名）

(2) 2012年2月7日（久留米大学病院）

発表者9名

聴講者24名

（ポイント申請者：6名，非申請者：18名）

(3) 2011年度開催実績

（4か所開催で発表者36名，聴講29名，

参加者67名）

#### 2. 検討事項

1) 症例検討会について，公益法人化に伴い見直し  
検討中

会計

その他

1) 地区研修会開催時期変更検討中（A地区：6～7  
月，C地区：11月，D地区：12月）

2) 予算において少し変動あり，最終確認のため，3  
月事業企画会議実施要望。

### 7. 事務

#### 1. その他

1) 名簿の確認を平成24年度4月会議前にメールにて  
行う予定。

2) 福岡県作業療法協会運営部員委嘱状について

3) 3月16日全体会議を開催決定

→ 轟木氏に確認後連絡。

4) 平成24年度筑後ブロック事業企画会議開催日程  
を偶数月の第3月曜日にて実施予定。

次回会議予定

全体会議：平成24年3月16日（金）19:30～，高良  
台リハビリテーション病院



## OT急募 はたけやまクリニック

募集職種：作業療法士

募集人数：1名

雇用形態：常勤職員

給与：180,000円～220,000円

賞与：年2回（夏・冬）

勤務時間：① 月・火・金・土  
9：30～17：00（休憩60分）  
② 木  
10：30～18：00（休憩60分）

休日：水・日・祝日

福利厚生：厚生年金・健康保険・労災

その他：交通費（10,000円/月まで支給）

備考：児童・思春期デイケアのための募集です。  
2010年7月に片野に移転した、まだ新しいクリニックです。  
子ども好きで料理・手芸・園芸などを通し  
デイケアの患者さんの指導ができる方。

連絡先：〒808-0143

北九州市小倉北区片野3丁目4-18

093-383-2308

担当：小原

試用期間3カ月あり、労働条件は変更なし

## 作業療法士急募

医療法人 社団EJ会

介護老人保健施設 ガーデンヒルズ

募集職種：作業療法士

募集人数：1名

雇用形態：常勤職員

給与：200,000円～

賞与：年2回（夏・冬）

勤務時間：8：30～17：30（休憩60分）

休日：週休二日制

福利厚生：厚生年金・健康保険・労災・雇用保険

その他：交通費（5,000円/月まで支給）

備考：試用期間3ヶ月あり

連絡先：〒809-0023 福岡県中間市扇ヶ浦1  
丁目14番1号

TEL：093-245-7666

FAX：093-245-7779

<http://www.ejkai-noda.com/>

担当：魚住

## 急募！ 財団法人 西日本産業衛生会 若杉病院 作業療法士募集

【募集人数】

作業療法士1名

【応募資格、経験年数、年齢】

面接にて応相談

【勤務時間】

平日：8：30～17：10 土曜：8：30～12：30（4週7休）

【休日休暇】

日曜・祝日・夏季休暇・年末年始ほか

【施設概要】

病床数297床（一般病棟：117床、療養病棟：120床、  
介護病棟：60床）

診療科目：内科、循環器内科、呼吸器内科、  
消化器内科、リハビリテーション科

リハビリテーション：脳血管リハ（I）、運動器リハ  
（I）、呼吸器リハ（I）

【業務内容】

院内での維持期リハを中心とした作業療法

【スタッフ数】

PT 10名 OT 4名 ST 2名

【応募方法】

先ずは、電話連絡でご連絡ください

〒811-2416 福岡県粕屋郡篠栗町大字田中275

TEL (092) 947-0511 FAX (092) 947-1552

財団法人 西日本産業衛生会 若杉病院

リハビリテーション科（坂田迄）



## デイサービスToquidoki求人

### 募集職種

作業療法士・理学療法士

### 募集人数

1名

### 雇用形態

常勤職員

### 給与

210,000円～260,000円

### 勤務時間

月～金 9:00～18:00 休憩60分

### 休暇

土日祝

### 備考

福岡大学スポーツ科学部研究室と産学官連携  
を行い、機能訓練に特化したデイサービス  
11月1日に新規オープン

### 連絡先

812-0014

福岡市博多区博多駅南3丁目3-3-102号

Te l 092-292-5818

担当 山方

## 医療法人原三信病院 香椎原病院

### 作業療法士 急募

資格：作業療法士免許（3年目以上）

年齢：24～40歳位まで

採用人数：2名

待遇：給与当院規定にて優遇。昇給年1回，通勤手当，住宅手当。

賞与：年2回

福利厚生：教育研修充実

休日：週休二日制

勤務時間：8:50～17:04（日勤）

回復期病棟（変則勤務有）

備考：試用期間3ヶ月あり

連絡先 813-0011 福岡市東区香椎3丁目3番1号

TEL 092-662-1333

FAX 092-662-1330

<http://www.kashiihara.or.jp/>

求人担当者 事務課 矢野

※施設見学随時対応いたします。

見学対応担当者：リハビリテーション科 梅崎



# 平成23年度 第6回 (社) 福岡県作業療法協会 理事会 議事録

日 時：平成24年2月6日 (月)

19時00分～23時00分

場 所：株式会社 良創夢

出席者：志井田，竹中，座小田，中川，白山，深町，榎本，大田，田中，佐藤，濱本，(以上，理事)．丹羽，平岡，轟木，手島，玉野，福田，菅沼，(以上，次理事)．原口(監事)．埜野，鐘ヶ江，小田，藤崎(以上，事務局)(敬称略)

欠席者：江原，藤末，大社(以上，理事)．近藤(監事)

議 長：志井田会長

## I. 議題

### 1. 新公益社団法人移行の手続きとタイムスケジュールの確認

県より公益社団法人移行を認めるという連絡をいただいた。手続きのため，3月4日定期総会(予算総会)，4月1日登記，4月2日臨時社員総会(新理事・監事の承認等)というタイムスケジュールで準備をすすめていく。

### 2. 理事・監事の就任に関する件

公益社団法人移行に伴い，定款に記されている通り，新理事・監事が就任する。

### 3. 平成24年度事業計画・予算案について

24年度の各部の公益目的事業及び予算案について検討確認した。

### 4. 第17回福岡県作業療法学会日程について

筑豊ブロックにて開催。日程は平成25年2月下旬～3月上旬を検討している。

### 5. 日本リハビリテーション学校協会主催の教育研修会・教育研究大会への後援依頼について

平成24年8月22・23・24日福岡国際医療福祉学院で開催される本大会について，後援の依頼あり，承認が得られた。

## II. 報告

(会長より)

会長行動(平成23年12月～平成24年1月)

第33回九州理学療法士・作業療法士合同学会

三役会 出席

北九州市障害者支援計画策定委員会 出席

P T・O T・S T士会役員会 出席

平成23年度 第5回福岡県作業療法協会理事会 出席

O T協会受託事業 第3回地区委員会 出席

福岡県介護福祉士会主催 設立20周年及び公益社団

法人化記念式典・公開講座・祝賀会出席

北九州市すこやか住宅推進協議会主催 建築・福祉

新春情報交換会・交流会 出席

(副会長より)

クローバープラザで開催された福祉の職場説明会(2月3日開催)に作業療法協会のブースを設置した。

(竹中副会長)

大分県作業療法士連盟設立総会(2月5日開催)に出席した。(座小田副会長)

(事務局より)

平成24年3月2・3・4日に開催される，国際車いすテニストーナメント2012北九州について，福岡県O T協会も後援している。

(各部長・委員長より)

〈教育部〉

主催研修会報告ー発達分野研修会(参加者62名)

予定報告ー地域分野研修会，現職者選択研修老年期分野研修会

S I G申請が1件あり，承認された。

〈学術部〉

学術誌について5月発行予定で準備をすすめている。

〈福利部〉

各部の企画会議及び研修会開催時の保険の取扱いについて今後検討していく。

〈渉外部〉

飯塚市高齢社会対策推進協議会(12月14日開催)出席。

(社)福岡県介護支援専門員協会 理事会(1月12日開催)出席。

〈広報部〉

県協会ホームページ刷新の準備状況について報告。

〈事業部〉

平成24年度啓発事業，30周年記念式典の準備状況について報告し，内容を検討した。

〈保険委員会〉

平成24年診療報酬・介護保険改定について報告。平成24年3月10・11日訪問リハビリテーション実務者研修会を開催する。

(各ブロック担当理事より)

〈筑後ブロック〉

活動報告ー事業企画会議開催，研修会開催，現職者共通研修事例報告会開催

活動予定ー事業企画会議開催，研修会開催

〈福岡ブロック〉

活動報告ー事業企画会議開催，研修会開催，広報誌発行

活動予定ー事業企画会議開催

〈福岡東ブロック〉

活動報告ー研修会開催，現職者共通研修事例報告会開催

活動予定ー事業企画会議開催，研修会開催

〈筑豊ブロック〉

活動報告ー事業企画会議開催，研修会開催

活動予定ー事業企画会議開催，交流会開催

〈北九州ブロック〉

活動報告ー事業企画会議開催，研修会開催，広報誌発行

活動予定ー事業企画会議開催，研修会開催

## III. 次回開催日

平成24年4月2日(月) 20:00～場所：良創夢(嘉麻)

芳野病院は北九州市若松区にあり、JR若松駅や若松渡船場から徒歩5分の洞海湾の海岸通り沿いに位置しています。近くに、若松と戸畑を結ぶ若戸大橋や河童伝説の残る高塔山があり、春は高塔山の桜、夏はくきのうみの花火など、病院に居ながら四季を感じることができます。

当院は、大正2年(1913年)に若松市明治町(当時)に芳野医院として開院し、100年近くにわたり地域医療活動を行っています。診療科は外科・内科・循環器科・整形外科・脳神経外科・リハビリテーション科・人工透析などがあり、「医療・介護を通じて地域社会に貢献」を病院理念として、高度機能病院の後方支援機能として在宅復帰を基本とする、亜急性期や回復期病棟が中心の143床のケアミックス型の病院です。その内訳は一般病床106床(回復期リハビリ病棟含む)・療養病床37床です。看護部には3名の歯科衛生士がおり、入院患者様の口腔ケアを実施しています。法人として、住宅型有料老人ホーム(ショートステイ含む)やグループホームがあり、地域に密着したサービス体制を整えています。又、関連会社では居宅介護支援や訪問介護、通所介護(3ヶ所)、短時間の通所介護(リハビリステーション)、小規模多機能型施設、福祉用具センターなどがあります。

リハビリテーション部のスタッフは、PT26名、OT11名、ST5名、鍼灸師1名、ケアスタッフ3名の計46名です。スタッフ同士たいへん仲が良く、とても良い雰囲気です。OT室の隣には、北九州市花咲くまちづくりコンクールで優良賞を受賞した屋上庭園があり、四季折々の花を楽しむことができます。PT室とOT室は、階は違うものの中階段でつながっており、行き来が多いため情報の共有に便利な構造となっています。平成22年6月には、休日リハ提供体制加算を申請したことで、回復期リハビリ病棟を中心とした患者様に、毎日リハビリテーションを提供できるようになりました。入院生活に密着した訓練を実施するため、病棟にも積極的に出入りし、PTとOTが各病棟で遅日勤を(回復期リハビリ病棟では早日勤も)実施し、モーニングケアやイブニングケア場面での直接的な介入を行っています。又、訪問リハビリや短時間の通所リハビリにも力を入れ、患者様が住み慣れた環境で、再び生きがいのある生活を送れることを支援しています。連携の強化を図る為、退院時に、ケアマネジャー宛てはもちろんのこと前医の担当者様にも経過報告書を作成し送付しています。

私は現在、訪問リハビリに携わっています。以前は、回復期リハビリ病棟に配属されていましたが、恥ずかしながら、訪問リハビリに出て改めて、院内でのリハビリが全てではないことを実感しました。個人的な感想ですが、ひとりで訪問車に乗り病院を出発すると、病院がまるで巨大な箱のように感じられました。リハビリ室やナースステーションがなく、生活の場である患者様のご自宅で行う訪問リハビリに携わる中で、改めて、他職種との情報交換の大切さや、ご家族の協力の重要さ、チーム全員が個々の専門性を発揮しながら、足並みを揃えつつ目標に向かっていくことについて考え直すことができました。これからもOTとして、一人一人の利用者様に対して何ができるのか、常に自問自答しながら、毎日の業務に取り組んでいきたいと思っています。



### 誠愛リハビリテーション病院 作業療法士 中西 恵

作業療法士になって4年がたちました。外来診療に始まり、入院、そしてこの4月から小児診療へ。今まで多くの患者さんと接する中で、作業療法士としてだけでなく一人の人間として、とても貴重な経験を重ねることが出来ました。ある入院患者さんの言葉が忘れられません。「マニュアルは大切だと思う。でも患者は実践の中にいる」。年々、経験年数だけが増えていく中で、口から出る言葉ばかりが先走っていた自分に気付きました。障害によって外界からの刺激を受け入れにくい状態に居たとしても、人と人が接することで生まれる感情・感覚は必ず芽生えたと感じています。目の前にいる患者さんをしっかりと「みる」大切さを改めて実感させられた言葉でした。



さて、私事ですが最近Facebookにハマりつつあります。夕食後、一日の中で一番リラックスできる時間、スマホを片手に今日一日の投稿を見ていると、仕事の疲れもいつのまにか忘れるようです。幼少時代の友達から福岡に来て新しく出会った人達まで、皆ユーモア溢れる投稿で楽しませてくれます。最近ではFacebookに当院も参加し、情報交換の一手段として活用されています。色々なものがデジタル化されていくと、人と人が顔を合わせて笑いあったり、喧嘩したり、時に涙するような事は減ってきていますが、文字や写真のもつ魅力は非常に興味深いですし、それでしか表現できない場合もたくさんあると思います。ただ、相手の表情や声、しぐさから感じるその人の良さや個性に気付いていくことは、人と接する中で生まれてくるもの。作業療法士として、また人として、これからも人との関わりを大切に、楽しく成長していけたらと思う今日この頃です。

### 福岡共立病院 川畑徳子

中村病院の古賀涼子さんからバトンを引き継ぎました、福岡共立病院の川畑徳子です。声をかけて頂いた事に感謝し、僭越ながら簡単な当院の紹介と日々の業務で感じた事を書かせて頂こうと思います。

私の勤務する福岡共立病院は、福岡市東区に位置する病床数183床の精神科の病院です。OTR 4名、その他PSW、Ns等合計8名のスタッフで病棟OT・DCを展開しています。当院で毎月実施される院内研修にて、OTも発表する機会がありました。他職種へのOT理解を目的に、OTの視点をまとめていく過程は、これまでの活動の振り返りと、OTとして何が出来る、何をすべきかを考え、220点という点数の下提供している「治療」に対する責任を改めて自覚する機会となりました。また、地域の中で、近隣施設と当院それぞれの位置づけと、担う役割を知り、当院へ入院してくる患者層の変化を視野に入れておく必要性にも気づかされました。



「集団は生き物である」という表現があるように、患者層の変化で集団全体が変化し、活性化する事もあれば、不適合を起こす事もあり、常に集団全体の評価と活動の適合性の評価を行う必要性を痛感しています。学生時代「説明出来れば何をしても良い」という言葉を聞いた事があります。言い方を変えると「説明出来ない事はしてはいけない」という事になります。提供している活動の治療的意味・必要性を臆する事なく説明出来るよう、責任ある活動提供に努めなければと思います。前述してきた内容は精神科OTとして基本的な事ですが、この基本的な事を日々実感する度に「OTは日々勉強、一生成長」と初心に戻る毎日です。

「OTをしています！」と胸張って言えるよう、頑張っていきたいと思います。

次回は、東リハの頼れる後輩、寺沢病院の山野理恵さんに引き継ぎたいと思います。宜しくお願いします。

# 会員動向調査

調査期間 (2011.12.14~2012.3.8)

福岡県作業療法協会 会員数2,334名 (正会員2,118名 自宅会員216名)

## <入会>

藤村 祐輔	穎田病院	: 2011年11月	(あおぞらの里 小文字訪問看護ステーションより)
石崎 有美	特別養護老人ホーム 多田の里	: 2012年1月	
福島 絵莉夏	早良病院	: 2011年12月	
竹川 彰一	友愛病院	: 2012年2月	
上前 奨伍	千鳥橋病院	: 2012年1月	
小森 沙季子	栄光病院	: 2012年1月	
増田 隼	新門司病院	: 2012年2月	
澁澤 由希子	浅木病院	: 2012年1月	
木村 明博	浅木病院	: 2012年1月	
吉弘 知世	新行橋病院	: 2012年1月	
平田 保	新行橋病院	: 2011年12月	
勝木 臣治	福岡新水巻病院	: 2011年12月	
山田 奈奈	北九州中央病院	: 2012年1月	
<県内移動>			
木村 直子	自宅 (障害者支援施設 仁愛荘より)	: 2012年3月	
馬場 美香	自宅 (アップルハート訪問看護ステーション小郡より)	: 2011年9月	
中村 順子	姫野病院 (デイサービスセンター笑福亭より)	: 2012年2月	
前田 由紀	自宅 (重藤外科医院より)	: 2011年12月	
渡邊 あずさ	自宅 (中野医院 老人デイ・ケアより)	: 2011年12月	
金丸 了	金丸医院 (石田病院より)	: 2012年1月	
田中 美江	自宅 (久留米リハビリテーション学院より)	: 2011年4月	
木村 候	良創夢 訪問看護ステーション (良創夢 デイサービスセンター飯塚店より)	: 2011年6月	
上門 恵	自宅 (松岡病院より)	: 2012年1月	
伊東 由紀子	自宅 (夫婦石病院より)	: 2012年1月	
稲岡 紀子	自宅 (進藤整形外科クリニックより)	: 2012年1月	
大原 早苗	川添記念病院 (太田脳神経外科医院より)	: 2012年1月	
佐々木由美枝	西福岡病院 (自宅より)	: 2011年4月	
室井 美穂	グループホーム紫苑のさと	: 2011年11月	
原 未来	あおぞらの里 古賀訪問看護ステーション (自宅より)	: 2012年2月	
堤 皓平	小波瀬病 (つくし訪問看護ステーションより)	: 2012年2月	
菅 孝紀	黒崎整形外科病院 (介護老人保健施設 サングレースより)	: 2011年12月	
比嘉 敏彦	北九州市立医療センター	: 2011年12月	
高橋 訓子	自宅 (小倉リハビリテーション病院より)	: 2011年12月	
濱崎 英朗	新小文字病院 (桜クリニックより)	: 2011年12月	
柳 誠	新小倉病院 (新行橋病院より)	: 2012年1月	
平田 一敏	介護老人保健施設 双葉苑 (苅田病院より)	: 2011年7月	
<退会者>			
木下 真由美	飯塚記念病院	: 2012年2月	
森田 美穂	飯塚記念病院	: 2012年2月	
高田 綾子	飯塚記念病院	: 2012年2月	
中尾 明美	倉永病院	: 2011年12月	
田中 美江		: 2011年12月	(県外へ)
重村 梓		: 2011年11月	(県外へ)
谷頭 幸恵	那珂川病院	: 2012年2月	(県外へ)
地吉 巧樹		: 2012年2月	
山口 佳良子	福岡県立太宰府病院	: 2012年2月	
廣田 友美	博愛会病院	: 2012年2月	
日高 佳那子	雁の巣病院	: 2012年1月	
村島 尚子	自宅	: 2012年2月	
岩元 祐太	福岡記念病院	: 2012年1月	
牛島 麻希	宏洲整形外科医院	: 2011年12月	
前田 隆	中野病院	: 2012年2月	
木下 真理子	大平メディカルケア病院	: 2012年1月	
武田 雪江	訪問看護ステーションきらら	: 2012年2月	
野見山ネレンス	松尾病院 (海外へ)	: 2012年2月	
田中 梢 (有)	在宅ナースセンターはんずあい	: 2012年1月	
岩元 沙織		: 2012年2月	(佐賀県へ)



井田 綾乃 : 2012年1月  
(長崎県へ)  
朴 順華 : 2011年12月  
(栃木県へ)

**\*会員の皆様へ\***

これまで、会員の皆様の移動状況を会報にて報告してまいりましたが、「事務所へ報告はするが、会報への掲載は望まない」という会員の要望もごございます。

異動等の報告の際、会報への掲載を希望されない場合は所定の用紙(異動届等)にその旨ご記入くださいますよう、よろしくお願いいたします。

異動の際の手続きについて

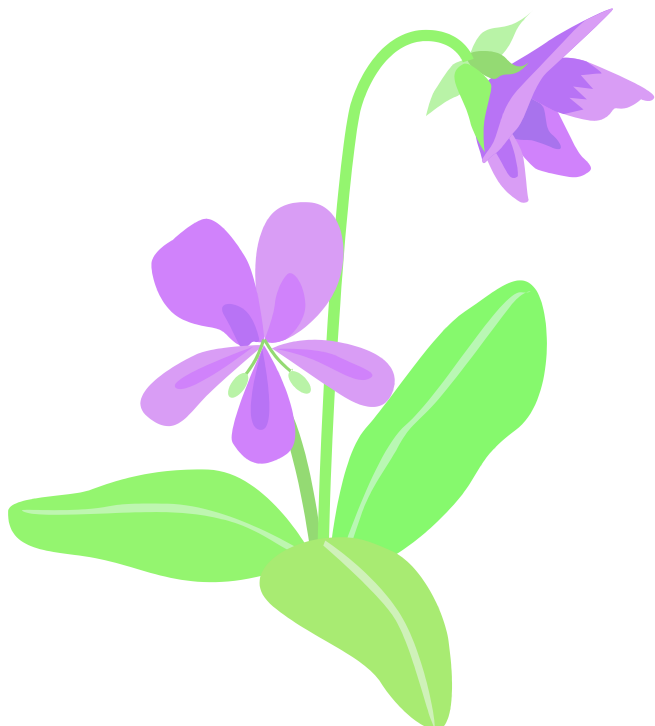
職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ (<http://www.fuku-ot.org/>) へアクセスし、入会・異動・退会の項から届出用紙をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお問い合わせ下さい。

TEL 093-952-7587



**革手芸材料専門店**



皮革手芸材料・工具・染料・本  
皮革…染色用・袋物用・衣料用  
レザークラフト教室と講習会

作業療法・病院関係 特別割引料金

配達・迅速発送

<http://www.e-hands.jp>

福岡店 (092) 713-5088  
〒810-0041 福岡市中央区大名1-5-2

体に合った車いす・目的に合った車いす  
をご提供します  
車いす・介護用品・福祉用具レンタル



本社/福岡市中央区天神5-4-15  
営業本部/糟屋郡粕屋町中原3丁目9-20  
TEL/092-938-2208  
HP/<http://www.takis yokai.co.jp>

**タキ商会**

**編集後記**

新年度になりました。私は年度ごとに何か一つ新テーマを掲げて新年度に臨みます。今年度は広報の理事に就任したこともあり、例年になく作業療法の広報活動について考えこみました。今まで一部員として協会の活動をしていましたが(というか殆どただのお手伝い的な感じでしたが・・・)、理事の立場になると「あれもやりたい、これもやりたい、これもしなくてはいけない、あれもしなくてはいけない」と新たにモチベーション、使命感も芽生えます。また同時に混乱も生じますので一旦頭を整理し、「一般人の目に映り、耳に届く作業療法」をテーマに作業療法の存在感を示していければと考えました。しかし、その存在感を示していく上での広報部の土台は現段階ではまだまだ不十分です。その土台の一つとなる作業療法協会のHPについても、コンテンツ不足やデザインについて多くの人からご指摘をいただいています。以前の編集後記にも触れましたが、現在はこのHPのリニューアルが最優先課題となっています。HPリニューアルを足がかりにより効果的な広報活動を展開できるように頑張ります!

S 部員